

## 第102回

## 健康のススメ

板東 浩

外国出張の折に、カタールへ立ち寄る機会があった。中東のアラビア半島には、サウジアラビアやアラブ首長国連邦(UAE)がある。その両国に隣接しているのがカタールだ。英語の綴りは「Qatar」。いままで、略語を除けば、Qのあとには必ずuが来て、それ以外の言葉はないと思っていた。Qで始まる英単語をインターネットの辞書で調べると、地名や人名、中国語の表記がほとんど。だから、Qatarは、とても希であり貴重な単語だといえないだろうか。

Qについて、「キーボードでaやoはよく使うのに、qはほとんど使われず、仕事をしていないのでは」などと揶揄されることが。しかし、そんなことはない。Qだって大切な文字だ。Qちゃんといえは、可愛いオパケもいれば、マラソンの金メダリス

トもいる。同じ発音のCueは、ビリヤードの棒や、制作や放送関係で合図の言葉となる。

今回、滞在したのは首都のドーハ。日本人にとって、アジア大会やサッカーの「ドーハの悲劇」で知られる街だ。人々と雑談すると、三浦知良選手が有名で高く評価されており、嬉しくて胸がキュッとなった。とある店で腕時計が売られており、おもしろい発見が。日本製と思ってよくよく見ると、CASIOがCASIQになっていた。

ドーハもUAEのドバイも、今まさに建設ラッシュ。人々の情熱が熱気を帯び、急激に発展している。屋外は暑く、私はタクシー待ちでフラフラに。もう少しで救急搬送が必要だったかも。気温を調べると、何と49℃。いやはや、Qや9がまつわる旅であった。(医学博士、内科医)

## 「Qの魅力」